

1 犯罪抑止総合対策等の推進

(1) 犯罪認知状況（奈良西警察署管内発生分）

区 分	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0
犯罪認知件数	3,434	3,050	2,331	2,102	1,730	1,596	899

注：H 2 0 の認知数は7月末現在（前年対比－70件）

(2) 犯罪抑止対策

ア 地域ぐるみの犯罪抑止対策

(ア) 防犯パトロールの状況

本年8月末現在、自治会関係95団体、青パト関係9団体、学校関係6団体等の計110団体で「自主防犯パトロール隊」が結成され、約3,900名のボランティアが自主防犯活動を展開しており、新たにパトロール隊（富雄南地区自治連合会、青パト関係）1団体の結成を予定しています。

(イ) 防犯講習会の開催状況

住民に犯罪発生や予防策を知ってもらう上において、防犯講習会が非常に役立ち効果が出ています。

当署においては、昨年は120回、本年は8月末までにすでに91回開催し、防犯意識の向上を図るとともに、被害防止を図っています。

イ 個人で行う犯罪抑止対策

これはひとえに防犯意識の向上につきます。

当署では、防犯講習を行った自治会を通じて「窓振動アラーム」「泥棒よけシール」「防犯ブザー」の普及に努めて犯罪抑止を行っています。

2年前から実施したところ現在「窓振動アラーム」は約6,000個「泥棒よけシール」は約10,000枚配付したところ、貼付してもらった住宅の泥棒の発生がないように聞いています。

ウ 少年の被害及び非行防止活動の推進

本年4月以降、当署管内の全小学校（18校）において「被害防止教室」を開催し、声かけ対応訓練や防犯ブザーの普及を図りました。

また、管内全中学校（11校）において「被害及び非行防止教室」を開催し、携帯電話を介した犯罪からの被害防止を図りました。

新しい試みとして幼稚園と合同、刺股以外の新しい防犯装置であるネットランチャーを用いて三碓小学校（三碓幼稚園と合同）、西大寺北小学校、鳥見小学校（鳥見幼稚園と合同）において、教職員による不審者の確保要領の確認と児童・生徒の避難誘導要領を確認しました。

2 振り込み詐欺対策の推進

(1) 県下、振り込み詐欺被害状況（7月末現在）

発生件数 184件

被害総額 2億2,800万円

※ 中でも特に、オレオレ詐欺、還付金等詐欺が大半を占め、また被害者の約60%が60歳以上の方です。

(2) 振り込み詐欺の主な手口

ア オレオレ詐欺

携帯電話の番号が変わった等と家族になりすまし、「借金の保証人になった」「会社の金を使い込んだ」等と相手を騙し、示談金を名目に現金を振り込ませる手口です。

イ 還付金等詐欺

社会保険庁・市役所職員等になりすまして「年金等の還付金がある」等と相手を騙し、必要な手続きを装ってATM機（現金自動預払機）を操作させて、知らないうちに現金を振り込ませる手口です。

ウ 架空請求詐欺

メールやハガキにより、インターネット利用者や借金の請求等、身に覚えのない文書を送り付けて相手を騙し、現金を振り込ませる手口です。

エ 融資保証金詐欺

郵便受けに入っていた「低金利」等と書かれたチラシやダイレクトメールを見て、申し込んできた相手に対し「融資を受けるための保証金」「手数料」等と言葉巧みに相手を騙し、現金を振り込ませる手口です。

※ 公的機関（社会保険事務所等）が還付金の還付について、電話でATMに行くよう案内することはありません。

(3) 被害に遭わないために

- ◎ 必ず、一人で判断せず、周りの人に相談する。
- ◎ まず落ち着く。
パニック状態ではまともな判断が出来なくなります。
- ◎ おかしいと思ったら、迷わず、警察等に連絡をする。
- ◎ 相手の言った番号に電話をしない。
- ◎ 事前に家族や身内だけで分かる「合い言葉」を決めておく。

以上